

|      |               |
|------|---------------|
| 研究区分 | 教員特別研究推進 地域振興 |
|------|---------------|

|       |                        |       |                        |    |        |
|-------|------------------------|-------|------------------------|----|--------|
| 研究テーマ | 静岡県産香煎茶による肥満改善メカニズムの解明 |       |                        |    |        |
| 研究組織  | 代表者                    | 所属・職名 | 薬学部・分子病態学分野・講師         | 氏名 | 刀坂 泰史  |
|       | 研究分担者                  | 所属・職名 | 薬学部・分子病態学分野・教授         | 氏名 | 森本 達也  |
|       |                        | 所属・職名 | 薬学部・分子病態学分野・助教         | 氏名 | 砂川 陽一  |
|       |                        | 所属・職名 | 京都医療センター<br>展開医療研究部・部長 | 氏名 | 長谷川 浩二 |
|       | 発表者                    | 所属・職名 | 薬学部・分子病態学分野・講師         | 氏名 | 刀坂 泰史  |

|  |
|--|
| 講演題目   |
| 静岡県産香煎茶によるメタボリックシンドローム改善効果の解明  |
| 研究の目的、成果及び今後の展望  |
| <p>[研究の目的]</p> <p>昨今の生活の欧米化に伴い、肥満患者は増加の一途をたどり、肥満を基盤として発症するメタボリック症候群の患者も増加している。健康長寿社会の達成のためには食事を中心とした生活習慣が重要であり、特定保健用食品をはじめとした食品や飲料の開発が進んでいる。緑茶は静岡県の代表的な産業であり、肥満改善をはじめとした様々な機能を有することが広く知られている。香煎茶は緑茶の渋味成分のカテキン類を重合カテキンに転換加工した茶である。そこで本研究では、香煎茶の肥満とメタボリックシンドローム改善効果について検討を行うことを目的とした。</p> <p>[研究成果]</p> <p>1. 肥満マウスモデルに対する香煎茶の効果</p> <p>自然発症型肥満および耐糖能異常モデルマウスを用いて香煎茶の作用機序を検討する。マウスに香煎茶を投与し、体重、血糖値など肥満関連パラメーターを検討した結果、体重の減少が確認できた。</p> <p>2. ヒト介入試験における香煎茶の効果</p> <p>BMI 高値の被験者を対象としたヒト介入試験を実施した。3 か月間香煎茶およびプラセボ茶を飲用した結果、BMI や内臓脂肪量などの肥満に関する指標について有意な差は認められなかった。</p> <p>[今後の展望]</p> <p>動物実験でみられたメタボリックシンドローム改善効果がヒト介入試験では認められなかった。被験者数や摂取方法、摂取期間などを変更して追加試験を行うことを計画している。お茶は静岡県の特産物であり、サンダイヤ株式会社と共同研究により、産業への展開を行うことで、本研究は地域社会・産業の活性化に多大な貢献ができると考える。</p> |